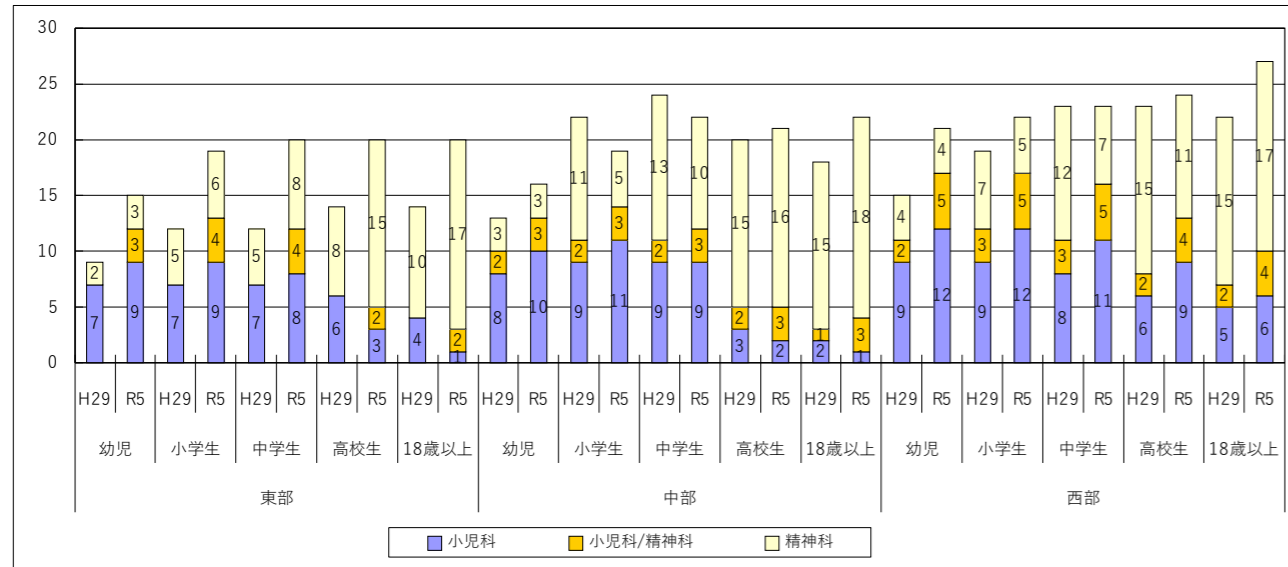


○発達障害の診断及び知能検査が可能な医療機関数（大地域・年齢別）※

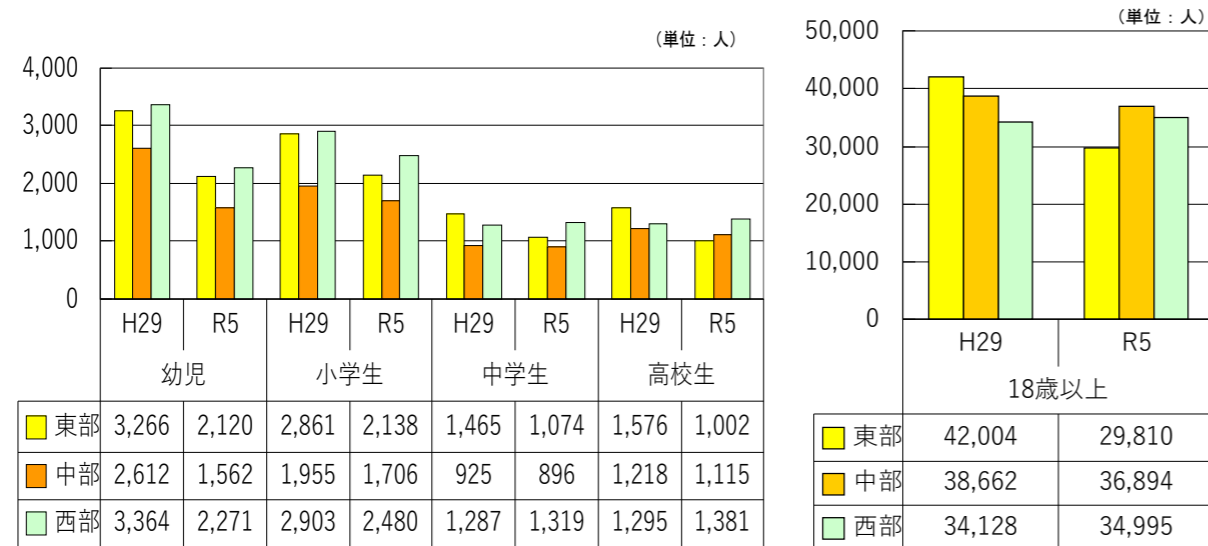
（単位：件）



※ 非公表の医療機関は分析から除外

○発達障害の診断及び知能検査が可能な1医療機関あたりの人口（大地域・年齢別）

（全体）



○発達障害の診断・知能検査が可能な医療機関数（大地域・年齢別）

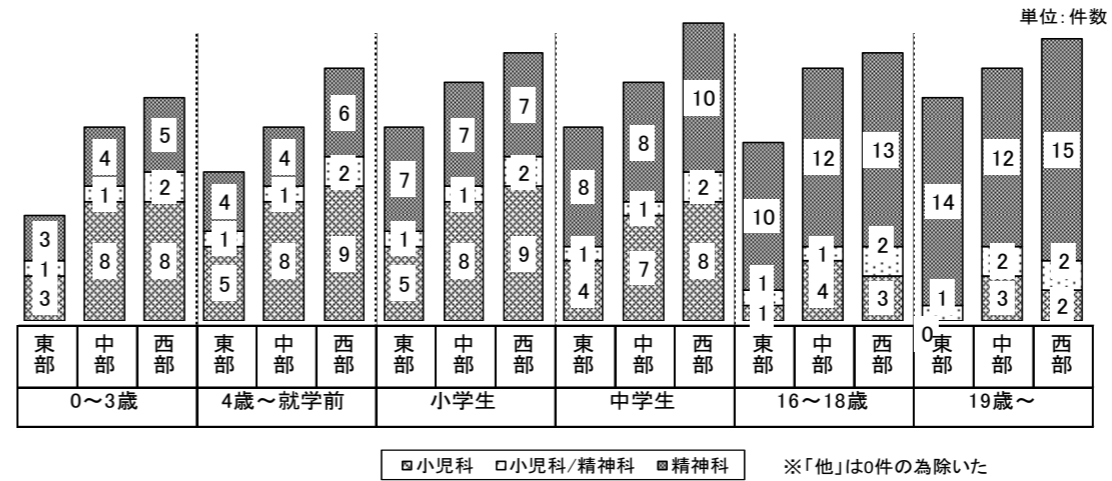


図1 診断・知能検査が可能な医療機関数(大地域・年齢別)

（資料：発達障害に関する診療状況調査報告書（2016年1月））

○診断・知能検査が可能な1医療機関あたりの人口（大地域・年代別）

（全体）

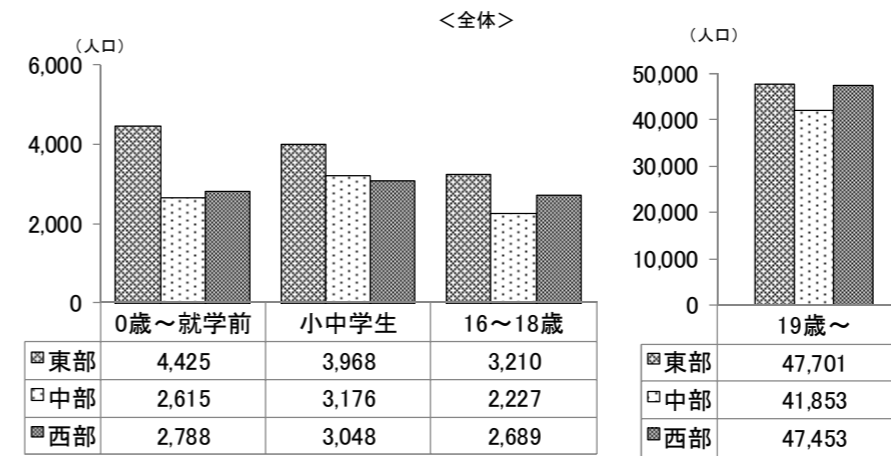


図2 診断・知能検査が可能な医療機関の1施設あたりの該当人数(大地域・年代別)

R5年度医療機関調査結果から幼児・小中学生、高校生、18歳以上の項目別集計を平成29年度と比較して表示  
 カッコ内は、平成29年度当時の医療保健計画に掲載されていた2016年(平成28年度)当時の調査結果資料を比較のため掲載  
 なお、平成28年度調査は29年度以降の調査とは診療対応可能な年齢の区分が異なっているため、29年度と令和5年度との調査結果との比較とした。